

限りの教育的価値をもちたなりければならぬ。但しピラに浮山の長をわしの文句を並べるとは恣張り過ぎて損である。洗練された、短の文章でつ、つ出てきりながらにも読める様なものでなければならぬ。

木、ポスター

之れも全然形は違ふが、ピラと同様な場合に役目を勤めるものである。従つて其の内容に於てもピラに付すると同様の考慮を要する。

ハ、教材プリント

之は学校及び講習会の科目講義の簡書とある。之れによつて講義の概要を稼め生徒の頭に入ると共にノートの書きとかなるべきものであるが充分親切に造らねばならぬ。

下、壁新聞

之は工場内、組合事務所等々労働者の集合する所にはこゝとより易の所に掲示する所の手書と似た新聞である。その紙は一寸立ち止つて読まねるものだから、文章は統て簡潔ですぐと頭に入るものでなくてはならぬ。主として会社の健康、裏切者の行動等の曝露、秀散なる闘士の賞讃、争議の事報、煽動的アツピートル等々に造らねばならぬ。

であるが、單なる個人的愚口、事實無根の風説等は先方に懸けたり此げならぬ之れは是非漫画入りとし反り

テ、工場ニュース

之は壁新聞の如く貼り出すもよし手渡しするもよいが、報告アツピートル等その工場内に働らくものに直接関係するところの事柄を踏踏版別にしたものである。凡てこれ等の発行にあつては組合支部或は工場班は組合教育部の指導を仰ぐべきだ、連絡なき單独行為は禁むなければならぬ。最も直接に未組織及び組織大衆に解かれるところのこれ等の文書出版物に対して適当な指導がなかつたならば、それ等はかへつて運動の障害にならぬとも限らぬ。

五、實地教育としては左の如き事項が考慮されべきである。

イ、吾等の教育が日常闘争から切りはなすべからざるものであり、その連続である以上日常闘争場裡に於ける敬家の労力がまた最も肝要なる手段であることは云ふまでもない。即ち争議、組織運動、宣伝等々、手足の動く向にも口と頭とを働かせし労働運動の理を解き、戦術を説明し傾向をなせしめそれらに回答し眼前に行なひつゝ、ある所の行動の階級の意義を明らかにし警へそれらが如何にさ